



## 地域学校協働本部だより

令和7年3月13日発行  
港区立赤羽小学校 校長  
地域コーディネーター

NO.15  
中村 美奈子  
石川 啓子  
大藪 淳子  
袖田 正子  
地域学校協働本部担当 小林 砂織  
西之原 理恵

### 卒業を祝う玄関装飾

6年生の皆さん、卒業おめでとうございます。春の暖かな始まりに、また一步大人の階段を踏み出す皆さんに相応しいように、ハートを沢山の花にして大空に飛ばしました。

ほころび始めた桜の花と、色とりどりのハートの花は、夢と希望を胸いっぱいにした卒業生の皆さんです。赤羽小学校で学んだ事、経験した事を忘れずに、新しい世界に羽ばたいて下さい。ご来校の際はぜひご覧ください。



今年も装飾をしてくださるお母さん方の想いを感じながら、3月を迎えました。ハートの願いを感じていただけたでしょうか。3月は、まとめの月です。保護者の皆様にとっても、お子様の1年間の成長を感じる時ではないでしょうか。この成長の中の「おかげ様で」を忘れないでほしいものです。

先日、井村さんと言うお医者さんの詩を見つけました。この詩は、井村清和さんが、骨肉腫という癌のために右足を切断した時に作られたものです。

～あたりまえ～

あたりまえ こんな素晴らしいことを みんなは なぜ喜ばないのでしょうか。  
あたりまえであることを 家族がいてくれる 手が2本あって 足が2本ある  
行きたいところに自分で行ける 手を伸ばせば何でも取れる 音が聞こえて 声が出る  
こんな幸せがあるのでしょうか しかし 誰もそれを喜ばない  
あたりまえだと 笑っています。  
夜になるとちゃんと眠れ そして また朝が来る 空気を胸一杯吸える 笑える 泣ける  
叫ぶこともできる 走り回れる みんなあたりまえのこと  
こんな素晴らしいことを みんなは 決して喜ばない そのありがたさを知っているのは  
それをなくした人だけ なぜでしょう あたりまえ



この詩のようになくした時に気づき…今の自分を見つめ直すことも大切なことですが、それと同時に私は、多くの大人が地域の方が、子供たちの成長を願い応援していることを知ってほしいと思います。

赤羽小学校の子ども達は、ご家族、支えて下さった教職員の方々に「おかげ様で、ありがとう」と巣立ってほしいと願っています。

今年度も1年間、地域学校協働本部を応援して下さい、ありがとうございました。